

6465 ^{kuraku}久楽北欧ひとり旅 282 : 天候と心模様

.....

こうした建築や内装は、日本の大都会では、珍しくはないかもしれない。

日本の個性があった方がいいと思うのだが、画一化も多い。

海外での旅の途上での出会いだから、新鮮に思ったのかもしれない。一過性を画像記録。

何に心を動かされたのか、記録することで、風化せず、また、見られるのが利点。

たかが、ワンシーンだが、当時が思い浮かぶ。下記は、対岸の光景。



明日は、どんな天候になるのか、わからない。

大自然の中、なるようにしかならない。予定が決まっていれば、別だが・・・

今の旅のスタイルは、自由自在。最高の贅沢だと感謝。

昔人間。「てるてる坊主」が、思い浮かんだ。明日、天気にな～れ！

山はみどり 野に花 人にはこころ

いろいろ立ち止まりすぎると、次への勢いや気力に、影響が出てくるもの。

心模様発信が、マンネリになっているのではないか、自問自答。

この発信継続の背景には、私事ながら、親父殿の、いろいろな人生記録が影響している。

国内外、ひとり旅を選択した背景、親父殿の「旅の葉」を、取り出してみた。

同時に、旅の足跡、国内外のキーホルダーのコレクションを、・・・

整理を始めようとしたが、膨大な数。時間の使い方としては、他の優先順位がある。

昔は、安価なキーホルダーが、旅の足跡の証明。

